

唐津ぶし (二名茶碗や) 三下り

一 われたもあれば われぬのも

あるは茶碗やの 縁の下
イヤテイヤ イワイタイドン

ヨッサ サシタチユウ

二 娘したがる 親たちも

さしてみたがる 繻子の帯

イヤテイヤ イワイタイドン

ヨッサ サシタチユウ

三 長いもあれば 短かいも

あるはおさむらいの 腰のものを

イヤテイヤ イワイタイドン

ヨッサ サシタチユウ

唐津小唄

北原白秋 作歌
町田嘉章 作曲

一 唐津松浦鴻 さゞ浪千鳥 ホノトネ

千りり鳴きます 日の暮は

「唐津 唐船 とんどの昔
今はおいさの山ばやし」
「チャントナ チャントナ」

一 博多出てのら 小島も晴れて 虹の浜

「折返」

二 夏の夜明けに 虹の浜

「折返」

三 虹の松原 虹の浜

「折返」

四 虹も立ちましたよ 後朝は

「折返」

一 月の出しほに 鏡山

「折返」

新曲 松浦鴻

北原白秋 作歌
町田嘉章 作曲

一 松浦鴻 誰を待つ身か 忍ぶ身か

何に領布ふる 佐用娘か

「折返」

「折返」

二 舞鶴の 羽衣に身を借る 夏の空

雲の浮岳 松浦川

わたしや千らりと 一目でも

波の高島 末かけて

「折返」

三 玄海の 島は鳥帽子に 沖の島

鯨汐ふく 小川島

わたしや 千らりと 一目でも

「折返」

「折返」

霊山志彦 作詩
松下又彦 作曲

親光 唐津小唄

一 舞鶴城より玄海見ればよ

あなた権を借ぐ私はかいよ

片帆白帆の浪しぶき

「折返」

二 唐津小町の 挑割婆よ

そぞろ歩きに潮風よんで

「折返」

ホノトネ

ホノトネ

ホノトネ

ホノトネ

ホニニヨカバイ 城下町

「折返」

「折返」

「折返」

「折返」

「折返」

「折返」

「折返」

「折返」

「折返」

松浦音頭 (よいとこ音頭)

長沢志雄 作詩
松下又彦 作曲

「折返」

「折返」

「折返」

「折返」